2026年度入学生用　「高田短期大学子ども学科　夢と笑いのある学びの場」

教育目的と教育目標	＜教育目的＞ ・子どもの健やかな成長を育み、心豊かで感性豊かな人間教育を実践できる保育者の養成 ・保育・幼児教育の幅広い分野で、社会に貢献できる保育者の養成		＜教育目標＞ ・保育・幼児教育の基礎理論や基礎知識、及び基礎的技能・技術を身につける ・保育・教育実習などにおいて、学んだ知識や技術を活かし、実践力を身につける ・少人数学習や体験学習を通して、課題発見・解決力、自己表現力・コミュニケーション力、チームワーク力等の能力を実践的に身につける		
セメスター	1年前期＜入門期＞	1年後期＜変身期＞	2年前期＜充実期＞	2年後期＜総仕上げ期＞	卒業単位(70単位)＋免許資格単位取得
学　修	①保育・幼児教育の基礎を学ぶ	①保育・幼児教育の基礎的な理論・知識を学ぶ ②実習を行うための基礎的な技能・技術を学ぶ	①保育・幼児教育の専門的な知識・技能を学ぶ ②授業と実習の連動により保育者の指導・援助法を学ぶ	①保育等の実践の場における課題に対し、論理的に思考し考えを表現する ②これまでの学びから、自分なりの子ども観・保育観を考える	・保　育　士　資　格 ・幼稚園教諭二種免許状 ・社会福祉主事任用資格 【＋ 自然体験活動指導者(NEAL)資格】 卒業と同時に取得！
キャリア	①保育者としての必要な**常識**とマナーを身につける ②意欲的な態度で学校生活を過ごせるよう計画し行動する	①協同して物事に取り組む姿勢を身につけ、達成する喜びを味わう ②実習での経験や学びを通して保育職に関する基礎的な理解をする	①大学での学びと実習経験を結び付けながら保育職の理解を深める ②就職活動や希望する進路実現に向けた活動を開始する	①社会人になるための自覚と責任感を持つ ②保育者として必要な知識・技能等の保育実践力を身につける ③大学生活全体を振り返り、自己課題の認識と改善・向上に努める	
共通教養科目	人生と仏教Ⅰ スタートアップゼミナール 日本語表現 英語コミュニケーション 情報基礎演習	人生と仏教Ⅱ 暮らしと政治 暮らしと数学 **幼免必修科目**	法学（日本国憲法） スポーツと健康（講義）	暮らしと環境 スポーツと健康（実技）	**学修イメージ** ・大学生や社会人として必要な教養を深める ・幼稚園教諭免許取得に必要な科目を修める ・公務員試験対策
専門科目 **教育・保育の基礎的理解**	保育原理 教育原理 子どもの食と栄養Ⅰ 子どもの保健 保育の心理学 社会福祉	保育・教育制度論 子どもの食と栄養Ⅱ 乳児保育 子どもの健康と安全 発達の理解と援助 子ども家庭福祉 社会的養護	発達学習心理学 子ども家庭支援の心理学 子ども家庭支援論 特別支援教育と障害児保育	保育者論	・保育や教育の基礎となる学びを積み上げる ・子どもや保護者に寄りそう上で役立つ心理学や福祉学の見識を深める
教育・保育の方法や技術	音楽表現技術Ⅰ 造形表現技術 子どもとあそび	音楽表現技術Ⅱ	社会的養護の内容と方法 教育・保育カリキュラム論 教育の方法と技術 子どもと音楽Ⅰ 乳児保育演習	子ども理解とカウンセリング 仏教保育 子育て支援 子どもと音楽Ⅱ たかたん保育特別演習（保育教材） たかたん保育特別演習（子育て支援） たかたん保育特別演習（自然保育） 子ども学科独自科目	・保育および教育現場で必要な知識や技術、ノウハウを磨く ・子ども学科独自科目でさらなるスキルアップを目指す
領域及び保育内容に関する科目	保育内容総論 子どもと環境 子どもと言葉	保育内容ー言葉 子どもと健康 子どもと人間関係 子どもと表現（造形） 子どもと表現（音楽）	保育内容ー環境 保育内容ー健康	保育内容ー人間関係 保育内容ー表現	・子どもの育ちの保障や子育て支援等に必要な保育内容（５領域）について理解を深める
総合		ゼミナールⅠ キャリアスタディ	ゼミナールⅡ－A	ゼミナールⅡ－B 保育・教職実践演習（幼稚園）	・各ゼミでの自発的な学びや研究に取り組む ・保育者(社会人)としてのキャリア意識向上
教育・保育実習		教育実習指導(1) 教育実習Ⅰ（11月） 保育実習指導Ⅰ－（1） 保育実習Ⅰ（保育所・2月）	教育実習指導（2） 教育実習Ⅱ（9月） 保育実習指導Ⅰ－（2） 保育実習Ⅰ（施設・6月）	保育実習指導Ⅱ（保育所） 保育実習Ⅱ（保育所・11月） 保育実習指導Ⅲ（施設） 保育実習Ⅲ（施設・11月）	・保育および教育現場での実践を通して業務理解や技術の向上を目指す

学科到達目標（教育課程別学習成果）

A.倫理観　保育・幼児教育の実践の場において必要とされる、人間の尊厳や人権を守ることができる倫理観を身につけている。
B.知識・技能　保育・幼児教育に関する専門的な知識・技能を修得し、現代の保育者として必要とされる基礎的な実践力を有している。
C.論理的で柔軟な思考と判断力　保育・幼児教育等の実践の場で関わる子どもや保護者、地域社会の抱える課題や要求に対して、論理的かつ柔軟に思考して判断することができる。
D.自己表現力　保育・幼児教育等の実践の場において、適切な手段を用いて他者に自分の意見や考えを表現することができる。
E.主体的な行動力　保育・幼児教育等の実践の場において、自らの課題を発見し、課題解決や目標の達成に向けて主体的に取り組むことができる。
F.他者との協働力　保育・幼児教育等の実践の場で関わる他者と連携・協働して物事に取り組むことができる。